

にほんごひろば



Bangladesh編 多文化こども学習塾

外国の文化を知ろう！

様々な国籍の方が混在するにほんごひろば。お互いのことをより深く理解する機会を作りたいという思いから、「国紹介」をテーマにスピーチ発表を実施しました。

開催概要

日時 2023年12月9日(土曜)

15:00~15:30

場所 松原ミニコミュニティセンター

ゲスト Eさん(Bangladesh)

参加者数 14名

司会 にほんごひろば 伊藤



スピーチ発表者と担当



松原ミニコミュニティセンターで開催

記念すべき第一回目のスピーカーは Bangladesh 出身の E さん。 Bangladesh 人であり、イスラム教徒でもある彼女に Bangladesh の魅力やムスリム文化を紹介してもらいました。普段ムスリム文化を知る機会が限られている日本人にとって、多くの発見や学びがありました。

発表 10 分+質疑応答 15 分で行いました。いずれも日本語で行い、事前に準備した写真やイラストも用いながら進めました。

「外国の文化を知ろう」バングラデシュ編



バングラデシュはインドに隣接した位置にあります。コックスバザールという世界一長い海岸が有名で、とても美しいです。ムスリムはコーランの教えに従って生活をしています。例えば、1日5回メッカに向かってお祈りをします。豚の油やアルコールを含むものは口にしません。女性はブルカやヒジャブと呼ばれるスカーフを身に付けます。こうした生活を送る上で、日本においては不便に感じることもあります。一方で、礼拝ができる場所やハラルフードが少しずつ増えています。今後もそういったものが広がると嬉しいです。

担当者の声

日本語の上達が著しいEさんにとって更なる学びの機会となること。バングラデシュやムスリム文化の情報発信を通じて、異文化理解を促進すること。この2点を目的として、第一回目の発表を彼女にお願いしました。

内容は普段Eさんが教えてくれることを中心に構成しました。バングラデシュの美しい風景、礼拝やハラルフードといったムスリム文化の紹介は大変興味深かったです。

聞き手の関心も誘い、発表後には多くの質問が飛び交いました。自分とは異なる文化や宗教に関心を持ちながら、対話を通じて理解を深めるその場の雰囲気は異文化理解そのものだったように思います。

にほんごひろばという小さいコミュニティの中における異文化理解にも大きな意義があると感じます。自分と異なるバックグラウンドを持つ人と話す楽しさを経験し、にほんごひろばの外においても「わからないもの」に対して前向きな姿勢を持って接することで、地域社会がより良くなっていくのではないのでしょうか。今後も様々な国の発表を企画していくことができればと思います。



参加者の声

バングラデシュと聞いても、アジアのどこにあるかなと思ってしまいます。ましてこの国の文化や食べ物など全く考えられませんでした。今回、Eさんの発表を聞いて知ることができ、いつか行ってみたい国の一つになりました。



東京駅構内（東京都千代田区）に開設された、
無料の礼拝施設

<https://search.yahoo.co.jp/image/search?p>

にほんごひろば



《ドイツ編》

「外国の文化を知ろう！」

これまでは、「外国のあいさつを覚えよう！」という企画で主として学習者の出身国のあいさつを覚えるための講座でしたが、本企画は、さらに一步踏み込んで外国人の日常生活に焦点を当てました。

開催概要

日時 2023年11月6日(月曜)

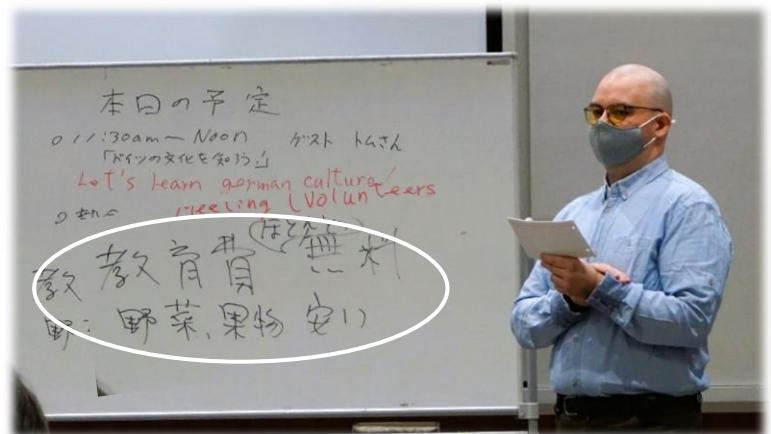
11:30~12:00

場所 中央図書館多目的ホール

ゲスト トム ゴット シャルク氏

参加者数 約20名

司会 にほんごひろば 古沢



熱演するトムさん

今回のスピーチの項目は、
1.ドイツの素晴らしい点 2.ドイツ人と日本人の考え方の違い 3.トムさんが今後、日本でやりたいことなどです。

スピーチの後、質疑応答があり、

- 1.ドイツの国立大学や高速道路は無料か。
- 2.ドイツのビールの種類や味、日本のビールとの比較。
- 3.ドイツのソーセージなどについて質問がありました。



中央図書館多目的ホールでの会場風景

「外国の文化を知ろう」ドイツ編

トムさんのスピーチ

今日のスピーチは、ドイツの素晴らしい点や、ドイツ人と日本人の考え方の違い、今後、私が日本でやりたいことについてお話します。前者は、第一に、ドイツの税金は高いですが、無料の場合もあることです。例えば、高速道路、教育、大学。高校卒業後、誰でも大学進学できます。もう一つは、外食は日本より高いですが、料理を作るのは安くできます。特に野菜と果物。りんご4個150円、ビール500ml120円と安いです。また、残業もありますが、残業時間が貯まれば、お金をもらうか休暇が取れます。年次有給休暇は法律によって20日以上取れますので長い旅行ができます。

後者の、ドイツ人と日本人の考え方の違いは、日本人が「万全」を大切にすることでしょう。特に仕事面で。ドイツ人は効率を優先します。ドイツ人は真面目な性格の人が多く、本音を言います。敬意やプライバシーを守っていますが、日本とは程度が違います。他人に話しかけるのは普通ですが、バスや電車に乗る時のマナーは日本と一緒です。バラバラの席に座ります！ドイツ人は、いいリアクションをあまりしませんし、「おいしい！」と言うのも珍しく、「悪くない」や「食べられる」と言うのが普通です。

ドイツ人として日本で生活して感じたのは、日本は素晴らしい国だということです。どこへ行っても99%安全、人が優しくて、みなさんがマナーを守って、快適な共同生活のため協力する。言葉の壁があるのに多くの人が話しかけてくれて、うれしいです。

この一年間は素晴らしい経験をしたので、これからも日本に住みたいという希望があります。日本人が大切にすることは私と合うし、食事もおいしいです。今、就職活動をしています。こちらの日本語教室は非常に勉強になりました。私は夢も持っています。いつか自分の居酒屋をやりたいです。ダンス教室もやるかもしれません！



熱心に聞き入る参加者



参加者の声

トムさんのスピーチは、現在のドイツ人の生活や考え方が日本と対比されており、そこにご本人の感じ方が加わって、そのお人柄を感じさせるもので、興味深いだけでなく楽しく心温まるものでした。また、中級レベルの日本語を使いましたので、初級の学習者にはスピーチの内容が理解できない方が多かったと推測されます。

担当者の声

トムさんの説明は具体的でわかりやすかったです。時間をかけて準備したことがうかがえる、素晴らしいスピーチでした。

「外国の文化を知ろう」ドイツ編



にほんごひろばで学習中のトムさん

ゲスト紹介

2022年12月、ワーキングホリデーのビザで来日、居酒屋でアルバイトをしながらにほんごひろばで週2回学習。将来、日本に住み、働きたいという希望を持っている。

ゲストの声

2月のスピーチと比べて、私の日本語は変わった気がします。普通の生活もできるようになってきて、電話も不安はありません。サマリーを読んで、日本のいいところが改めて明らかになってきました。日本語の難しさは、ドイツ語の文法と全然違うし、一つのことを表現するには三つの言葉があります。例えば、サマリーを書いたとき、「有給休暇」を発見しました。お休みや休日とは違いますね。考えを伝えるのは難しくないと思いますが、適切な言葉を使うのは非常に難しいことです。文字は、平仮名だけではなく、カタカナも漢字もあります。これらを覚えるのに時間がかかり、普通の文章がわかるには更に時間が必要ですね。今も難しいです。



[ドイツ基礎データ | 外務省](#)

にほんごひろば

外国の文化を知ろう！

《中国編》

中国と日本は一衣帯水の関係にあるといわれていますが、異なる点も多いようです。日本各地を数多く旅行し日本のことをよく知る楊さんに両国の文化の違い等を質疑応答形式で語っていただきました。



楊さんのプロフィール

中国・北京出身。2018年10月の来日以来、にほんごひろばで日本語を学習。ほとんど独学で上達した。

開催概要

日時 2023年11月11日(土曜)

11:30~12:00

会場 中央図書館2階 集会室

ゲスト 楊 陽さん

参加者数 約20名

司会 にほんごひろば 古沢

楊さんからのメッセージ

来日後、5年が経ち日本の生活にも慣れてきましたが、いまだにカルチャーギャップを感じます。例えば、次の通りです。◆割り勘:中国では年長者や誘った人が全額を支払い、次回は別の人が持ち回りで支払う。日本では割り勘が多い。◆朝食:中国では、①揚げパン(油条)と豆乳 ②お粥 ③麺類が定番。共働きが多いので、通勤途上で屋台や食堂で食べる。◆都市と地方の格差:以前よりは格差が縮小しているが、楊さんの大学生時代(約20年前)は学生寮で地方出身の学生は洗濯もあまりせず、シャワーも毎日ではなかったとのこと。◆方言:中国の場合、北の人と南の人では言葉が全く通じず共通語を使わざるを得ない。(例)こんにちは 北ではニーハオ、南ではネイホー。◆中国人と日本人の考え方の違い:中国人は自分の意見や気持ちをはっきり伝えるが、日本人は相手を傷つけまいとして遠回しに伝える。

「外国の文化を知ろう」中国編



ゲストと担当者

担当者の声

日本人と中国人は漢字や箸を使う点では共通していますが、今回の例のように日常生活では相違点が多いようです。

交流を通じて相互理解を深めたいものです。



約20名の参加者が熱心に耳を傾けた



参考図書(図書館にあります)

- ・『ふしぎな中国』講談社新書 近藤大介/著 302.2コ
- ・『中国人のお金の使い道』PHP新書 中島恵/著 361.4十
- ・『中国人はつらいよ』PHP新書 大木康/著 222オ